



小林市長 肥後 正弘

協働のまちづくりで 飛躍の年へ

新年明けましておめでとうございます。旧年中は、市政各般にわたり深いご理解と格別のご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。皆様方には明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。新年を迎え、さらなる飛躍を期し、市政運営にあたってまいります。

昨年3月23日、旧野尻町との合併により、新小林市が誕生しました。新市の一体感を醸成し、適切なサービスを提供できるよう、各種事業を進めてまいります。

医療は喫緊の課題

昨年は、市立病院の内科医引き

を強化し、高所得作物の導入による農業所得の向上と、後継者育成を図ります。また、生産された作物に付加価値を付ける加工場などの整備や新ブランドの開発を重点的に検討し、販路拡大を図ります。そのためには、やはり畑地かんがい事業は重要です。国、県、関係市町などと連携を図り、早期完成を目指します。

雇用情勢は、依然として厳しい状況にあり、働く場の確保は喫緊の課題。私も自ら企業訪問を行い、企業活動の把握に努めています。今後も情報収集に努め、情報に敏感に対応し、企業誘致をはじめとした各種雇用対策を積極的に実施します。

霧島が日本ジオパークに認定され、その魅力が国内に発信されました。本市観光資源の一つとして、今後、効果的な事業の展開を図ります。誇りを持って観光行政を推進するためにも指針となる観光振興計画を次年度中に策定し、その



▲まきばの桜

上げなど、医師不足が表面化し、深刻な状況に陥りました。医師確保をはじめ地域の医療を守ることが、本市の喫緊の課題であります。この難局に際し、(社)西諸医師会には多大なご尽力を頂いており、心より感謝申し上げます。現在、市立病院の果たすべき役割を明確化し、他の医療機関との役割分担を進めておりますが、その実現には市民の皆様のご理解とご協力が必要です。そのような中、住民の方々による地域医療を支える活動など、医療・行政との協働により地域医療への理解が広がっていることは、大きな進展であると感じております。今後も医師会をはじめとする関係機関と取り組んでまいります。

振興に取り組んでまいります。

福祉と子育て支援の充実

少子高齢化が進む小林市では、高齢者の元気が、まちづくりには不可欠です。そこで、高齢者が生きがいを持ち、いつまでも元気で活躍でき、介護が必要になっても安心して暮らせるように努めてまいります。高齢者学級などの生涯学習の推進、老人クラブ活動の促進や高齢者雇用の機会確保を図ります。



▲老人クラブ運動会

また、介護状態の進行を防止するサービスの提供、充実を図ります。

子育て支援では、子ども達が地域社会の中で、心豊かに育つ環境づくりが求められています。安心・安全な活動拠点である放課後児童クラブ拡充のための取り組みを進めてまいります。また、多様なニーズに応じた保育サービスの提供に努めるほか、子育て支援センターの充実を図り、開設準備中であるファミリーサポートセンターとの連携を図ってまいります。

係機関と協議を行いながら、地域の医療を守るべく、さらなる取り組みを進めてまいります。

地域経済の復興と家畜防疫の徹底を

昨年は口蹄疫の発生で地域経済は大打撃を受けました。幸いにして、本市での口蹄疫発生は防止できましたが、改めて畜産防疫の大切さを知らされた出来事でした。終息後は、いち早く口蹄疫復興対策本部を立ち上げ、停滞した地域経済への対策を講じ、実施してきました。今後も地域経済復興のため、あらゆる施策を展開し、復興に向け全力で取り組んでまいります。

教育行政の充実

小林に生きる喜びと感謝や誇りを持ち、小林を愛する心を大事にしながら、発展に貢献できる人づくりを目指して、教育行政を進めてまいります。

特に学校教育では、小林市独自の小中一貫教育を推進しております。子ども達の学力向上や、「こすもす科」の実践による心豊かな児童生徒の育成、望ましい食習慣の形成や、体力向上を図っております。野尻町区でも来年度から小中一貫教育を導入します。また、こばやしスクールサポートボランティアセンターを立ち上げ、学校や家庭、地域が一体となった学校づくりを目指します。

小林市は「スポーツのまち」。健康や体力の増進だけではなく、人々の親睦や交流を深めるスポーツを生産にわたって親しむことができるようスポーツ施設の整備や、「総合型地域スポーツクラブ」の支援など、スポーツの振興に努めます。加えて、生涯学習、文化・芸術の振興についても、市民と一体となった取り組み



▶こばやし大運動会

す。市の基幹産業は農業。その農業産出額の約7割が畜産です。家畜防疫の徹底に努めることはもとより、受精卵センター及び市営牧場の利活用促進を図り、家畜改良、増頭に取り組みます。また、食肉処理、加工能力を向上するために、食肉センターの拡充を図ってまいります。

野尻町と合併して畑作営農がさらに充実してきました。JAや生産グループとの連携



▲12月7日現在の浜ノ瀬ダム

を進め、普及、推進を図ります。

市民協働のまちづくり

社会環境の変化や、市民ニーズの多様化、地方分権の推進など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。そこで、これからは、市民が主体となり、行政と市民が一緒に取り組む「協働のまちづくり」が必要だと考えています。コミュニティの在り方や、市民が参加する地域協議会の設置、条例の制定などを行っていきます。

また、行政評価外部評価委員会や、行政改革市民会議が発足しました。今後、「行政提案から市民提案へ」という改革を念頭に置き、市民の皆様の見解を広く求め、市民と共に行政改革を着実に推進し、市民目線での改革を進めてまいります。

本年も市政各般にわたりご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様方におかれましても、本年が素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

平成二十三年正月

小林市長 肥後 正弘